



比企の歴史まるわかり!
9 市町村広報リレー

◆第七回◆
鳩山町版

比企9市町村にはそれぞれ魅力ある史跡や観光スポットがあります。毎月1市町村ずつ特集をして比企の魅力を余すことなくお伝えします。第7回目は、「鳩山町」です。

鳩山町マスコットキャラクターはーとん



かみつみち
笛吹峠(鎌倉街道上道)



嵐山町との境にある道沿いに、笛吹峠について説明している揭示板が設置されています。

鳩山町須江と嵐山町將軍澤との間にある峠で、鎌倉街道上道の難所の1つです。鎌倉から上野(群馬県)に通じる鎌倉街道の要衝にあたり、多くの武士団が行き来しました。武蔵武士にとってこの道はまさに「いざ鎌倉」の道だったようです。「史跡笛吹峠」の碑に面した、鎌倉街道と推定される道の東にある山道は、直線的で掘割状の形状であることから、この道が上道であるとの説もあります。

鳩山町内に残る鎌倉街道の名残り ~比企一族に思いを馳せて~

鳩山町には、かつて「鎌倉街道」と呼ばれ、鎌倉(神奈川県)に通ずる一筋の道が走っていました。今も道筋に残る海道端・海道端沼・大道など、街道にまつわる地名がその名残りをとどめています。この街道は、古代から交通路として利用されていたとの説もあり、鎌倉時代になると、幕府の所在地である鎌倉と、関東各地をはじめ、信濃・越後・奥州の国々を結ぶ重要な交通路となりました。普段は静かなこの街道も、ひとたび戦いが起こると、甲冑に身を固めた武蔵武士の一団が鎌倉を目指し、あわただしく馬を走らせたことでしょう。その後、この街道は、戦国時代の終わりがらまで利用されましたが、江戸時代になり、五街道が整備されると、次第に利用されなくなり、やがて廃道となってしまいました。



現在の鳩山中学校グラウンド端に、鎌倉街道を説明している揭示板が設置されています。



現在の赤沼地内に「廻国(かいこく)供養塔」と呼ばれる道標を兼ねた石塔があります。

鎌倉街道は、現在の県道ときがわ坂戸線や県道東松山坂戸線に近い場所を通っていたとされています。今宿コミュニティセンターを出発点に、県道を北上し、笛吹峠まで歩くことで、当時の人たちとほぼ同じルートを辿ることができます。みなさんも、比企一族への思いを馳せながら、旧鎌倉街道を辿るウォーキングをしてみたいはいかがでしょうか。



問 鳩山町 政策財政課 ☎049-296-1212

次回 源頼朝(初代鎌倉殿)から篤い信仰を受けた慈光寺のある「ときがわ町」です。

編集後記

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」が本格的にはじまり、毎月裏表紙で紹介している9市町村ゆかりの人物がドラマに出てきます。滑川町や比企地域が鎌倉時代に関係があるのは嬉しいことですね。実は、蔓延防止対策により町内のイベントが無くなり、今回の表紙を悩んで周囲に相談したところ、森林公園駅前広場に新たにできた比企尼の看板とターナちゃんとのコラボ案が出たので採用しました。広報はみなさんによって支えられています。(田中)

町の動き ()内は前月比

人口	19,687(+17)
男	10,046(+7)
女	9,641(+10)
世帯数	8,114(+22)

※令和4年2月1日現在